



まだまだ暑い日が続いていますが、園では水遊びや虫探し、夏ならではの遊びを満喫している子ども達です。ご家庭でもたくさん体を動かして過ごしていることと思います。もりもりご飯を食べてしっかりと睡眠を取り、休養を上手に取りましょう。

7月の感染症

溶連菌感染症 2名
手足口病 1名

夏風邪と診断された発熱、鼻水、せきなどの症状のお子さんが、おひさま、たまご組を中心に多くみられました。感染防止に努めるために解熱後は、一日自宅で安静にされることをお勧めします。

県の感染症状況

6月末から夏風邪が流行しています。いつもの夏風邪と違って原因不明のウイルス性気管支炎も流行しています。発熱、咳発作、咽頭痛、結膜充血があった時は、登園の前に小児科医院を受診して、登園の可否を相談してください。

情報提供 子育てあんしん課より

～健康診断のご協力ありがとうございました～

耳鼻科検診（6月30日）では、浸出性中耳炎が数名、慢性鼻炎と耳垢栓塞（耳あか）の所見が多くみられました。

浸出性中耳炎は、浸出液が中耳にたまる病気で耳の聞こえが悪くなるのが特徴です。慢性鼻炎は、辛い鼻水、鼻づまりの他、頭重感や嗅覚低下、鼻水が喉に落ちるなどの症状があり中耳炎との関連性も強いです。耳垢栓塞は、耳鼻科で取り除いてもらうこともできますので無理に取らずに相談してみましょう。

眼科検診（7月9日）では、所見のあるお子さんはみられませんでした。たんぼぼ、さくら組さんには、事前に視力測定も行い医師に判定をしてもらっています。視力低下の疑いのあるお子さん数名にはお知らせしていますが、機会をみて再測定をしてみましょう。



子どもの視力について

●●子どもの視力は徐々に発達します●●

生まれたばかりの赤ちゃんは、明るい・暗い程度しかわかりません。しかし、成長するにつれて、だんだん視力が発達していきます。そして、3歳頃になると子どもの半数以上が1.0位の視力で物が見えるようになり、6歳頃には多くの子どもが大人と同じ視力をもつようになります。

●●早期発見・早期治療●●



子どもの視力は、毎日目を使って見ていないと発達しません。そのため、発達途中で何らかの原因により、ものが見えにくい時期があると視力の発達が止まってしまうことがあります。このように視力が悪い状態で止まってしまうことを弱視といいます。早期に治療することで視力の発達に期待ができます。



とびひ(伝染性膿かしん)

原因

とびひは、虫刺されやあせもを掻いたり、小さなケガで出来た皮膚の傷に細菌が入り込んだりして感染することで発症します。また、鼻の入り口に細菌が常在しているため、鼻をいじるくせがあると鼻の周囲から発症することもあります。

症状

皮膚の水ぶくれ(膿ほう)・ただれ・かさぶた
リンパの腫れ・発熱・喉の痛み

- ◆ 患部を掻きむしったり、触ったりすると症状が広がります。

治療

主に原因となる細菌を退治する治療を行います。家庭では、シャワーでやさしく患部を洗い流し清潔に保ちましょう。

- ◆ 新たに発疹が出来ないようにすることが治りを早くします。

予防法



- ◆ 皮膚を清潔に保つ
手をよく洗い、爪は短く切りましょう。
- ◆ 鼻をいじらない
- ◆ 虫刺されやすり傷は、放置せず清潔にして処置しましょう。

感染性胃腸炎

これから流行ると思われる感染性胃腸炎の原因にノロウイルスやロタウイルスがあります。ノロウイルスは毎年秋から冬頃、ロタウイルスは冬から春にかけて流行するウイルスで感染力が強く、年齢に関わらず何度でも感染します。どちらも主な症状は、激しい下痢や嘔吐によって脱水、けいれん、肝機能異常、腎不全、脳症を併発することがあります。

水分が取れない、おしっこの量が少ない、または、半日以上出てない、目の周りがくぼんでいるなどの症状が出た場合は、すぐに医師に診てもらいましょう。



嘔吐物の処理方法



嘔吐物(おうとぶつ)は、二次感染を防ぐために速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて換気を行い、ゴム手袋やマスクで体を覆って嘔吐物に直接触れないようにしましょう。

用意する物

- ・使い捨て手袋
- ・使い捨てマスク
- ・バケツ
- ・雑巾
- ・ビニール袋
- ・消毒液(塩素系漂白剤など)
- ・使い捨てエプロン(あれば)



手順

- ①手袋(できれば肘まで隠れるもの)をして捨ててもよい布や紙で拭き取ります。
- ②拭き取った物はビニール袋へ入れて、外へ漏れ出ないようにして捨てます。
- ③汚れた床は、消毒液(塩素系薬剤等)を使用して拭きます。
- ④十分な換気を行いましょう。

嘔吐物の付いた衣類の洗い方

85℃以上の熱水で1分以上消毒するか、塩素系漂白剤で漬け置きした後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう。また、絨毯や布団などは、スチームアイロンで一か所あたりに2分程度かけましょう。